

**施工業者様へ** 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。  
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。  
■この施工説明書はKM5021TTU仕様にK1011RGを取り付ける例のイラストで説明しています。

**安全上のご注意**

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはならない「禁止」の内容です この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

<p><b>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</b></p> <p> 85℃より高温</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>加工および接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。</b></p> <p> 器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しないでください。</b></p> <p> 通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p><b>止水キャップは接続時以外ははずさないでください。</b></p> <p> 接続時以外にははずすと、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。接続の際は、取付店またはKVK修理受付センターにご相談ください。</p>	<p><b>取り付け後の通水は、必ず分岐水栓に給水ホースを接続した後、行ってください。</b></p> <p> 1.接続 2.通水</p> <p>給水ホースを接続する前に通水すると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>給水ホースが接続されていない場合は、ワンタッチノズルの先端(白い部分)を押さないでください。</b></p> <p> 高温の湯が出てやけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。また給水ホースが接続されていない場合は、分岐止水ハンドルは必ず閉めてください。</p>
<p><b>ワンタッチノズルの圧逃しを行う場合は、分岐止水ハンドルを確実に閉めてからノズルをはずしてください。</b></p> <p> 分岐止水ハンドルが開いた状態でワンタッチノズルをはずすと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>		

<p><b>めっき部品は、ぶつたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</b></p> <p> 禁止</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをすおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。</p>	<p><b>器具に強い力や衝撃を与えないでください。</b></p> <p> 禁止</p> <p>器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>止水栓取り付け箇所や給水・給湯管との接続箇所は、点検口を設けるなど点検しやすい状態にしてください。</b></p> <p> 点検ができないと万一漏水発生時には発見が遅れて家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p><b>小型電気温水器(即湯器)等に給湯ホースを接続する際は、ステンプレキ管等を介してください。</b></p> <p> 確認</p> <p>高温の熱により給湯ホースの寿命が短くなり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>食器洗い乾燥機等に接続する場合は、接続器の最高吐水温度を確かめてから吐水してください。</b></p> <p> 確認</p> <p>最高使用温度より高い温度で使用しますと、接続機器が破損するおそれがあります。</p>	<p><b>凍結が予想される際は、一般仕様をお使いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。</b></p> <p> 水抜き</p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>

**取り付け前に**

- ① 使用水圧 (A= (給湯器の最低作動水圧) + (配管圧力損失))
  - (1) 瞬間給湯器との組み合わせ (設定条件 水温: 25℃ 給湯器温度調節: 高温 吐水温度: 42℃ ハンドル全開) (比例制御式) 最低必要水圧: A+50.0kPa (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
  - (2) 貯湯式給湯器との組み合わせ (給湯・給水圧力) 最低必要水圧: A+50.0kPa (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
- ② レバーハンドルは全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。
- ③ 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ④ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑥ 給湯器の給湯温度は、安全のため60℃以下の設定をおすすめします。
- ⑦ 給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑨ 本製品は改造(加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑩ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

**取り付け完成図と各部の名称 / 寸法図 / 分解図**

**取り付け完成図と各部の名称**

**寸法図**

**分解図** この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。

1	キャップ
2	ねじ
3	分岐止水ハンドル
4	セラミックバルブ
5	パッキン
6	分岐水栓本体
7	逆止弁
8	パッキン
9	ナット
10	U字銅管ユニット
11	ノズルジョイント
12	パッキン
13	ワンタッチノズル

**取り付け手順 1**

**1 配管の操作**  
配管の元栓を閉め、湯水が出ないことを確認してください。

**分岐水栓の使用上のご注意**

**【警告】**

- ・止水キャップおよび蓋は接続時以外ははずさないでください。接続時以外にははずすと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。接続の際は、取付店またはKVK修理受付センターにご相談ください。
- ・給水ホースが接続されていない場合は、分岐止水ハンドルは必ず閉めてください。また、ワンタッチノズルの先端(白い部分)を押さないでください。高温の湯が出てやけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ・分岐水栓のワンタッチノズルには緊急止水機能が付いていますので、万一給水ホースがはずれた場合や給水ホースを付けない状態では、緊急止水機能が働いて通水されません。
- ・分岐水栓は給水・給湯どちらでも使用できますが、浄水器、整水器などをご使用になる場合は、給水接続で使用してください。(分岐水栓を付け替える際は、取付店またはKVK修理受付センターにご相談ください)また、食器洗い乾燥機の場合、給湯器の設定温度によっては給水接続しかできない場合がありますので、接続する機器の仕様を十分確認してください。
- ・接続の場合は、接続する機器(食器洗い機等)の給水条件および施工上の注意事項をよくご確認ください。
- ・分岐水栓以降に接続された設備については保証の対象外となります。
- ・給水ホースをはずす際は、必ず分岐止水ハンドルが閉まっていることを確認してください。通水中に給水ホースをはずさないでください。万一はずれた場合は、ワンタッチノズル内に圧力がたまり、再度取り付ける際、接続しにくい場合がありますので「ワンタッチノズルの圧逃し」を行ってください。

**2-1 分岐水栓の取り付け**

**水側分岐をする場合**

- ① 湯水の止水栓の止水弁または元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- ② 分岐ジョイントの止水キャップを取り外します。
- ③ 分岐ジョイントに分岐水栓を取り付け、袋ナットを締め付けます。この時、分岐ジョイントが緩まないようにスパナ等で固定しながら取り付けください。
- ④ 分岐水栓にU字銅管ユニットを取り付け、袋ナットを締め付けます。

**【注意】**

- ・接続は適切な工具(スパナ等)で締め付けてください。
- ・締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。
- ・締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因となります。
- ・水栓本体に傷がつかない様、タオル等で水栓本体を覆ってから締め付けを行ってください。

## 取り付け手順2

2-2 湯側分岐をする場合  
水側の分岐ジョイントと湯側蓋を付け替えます。

- 湯水の止水栓の止水弁または元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- 水側の止水キャップと分岐ジョイント、湯側の蓋をはずします。

- 湯側に分岐ジョイントを取り付け、水側に蓋をドライバー等を使って確実に取り付けます。
- 湯側の分岐ジョイントに分岐水栓を取り付け、袋ナットを締め付けます。この時、分岐ジョイントが緩まないようにスパナ等で固定しながら取り付けてください。
- 分岐水栓にU字銅管ユニットを取り付け、袋ナットを締め付けます。

【△注意】・接続は適切な工具(スパナ等)で締め付けてください。  
・締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。  
・締め付け不足や締め付け過ぎると、漏水の原因となります。  
・水栓本体に傷がつかない様、タオル等で水栓本体を覆ってから締め付けを行ってください。

3 給水ホース(別売)の接続

その他の接続例  
分岐水栓の先端のワンタッチノズルは取りはずしできます。この場合、緊急止水機能は動きませんので注意してください。

G $\frac{1}{2}$ のナット(別売)が接続できます。

ホースニップル(別売品番:Z907)が接続できます。

【△注意】  
・接続は適切な工具(スパナ等)で取りはずしてください。  
・締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。  
・水栓本体に傷がつかない様、タオル等で水栓本体を覆ってから取りはずしを行ってください。

給水ホース(別売)について  
【△注意】日本電機工業規格JEM 1206に合致しない給水ホース継手は使用しないでください。通水不良や水漏れのおそれがあります。

5 ページ

4 ワンタッチノズルの圧逃し方法

万一通水中に給水ホースがはずれた場合は、ワンタッチノズル内に圧力がたまり、再度取り付ける際、接続しにくい場合がありますのでワンタッチノズルの圧逃しを行ってください。

- 分岐止水ハンドルをしっかり閉めます。

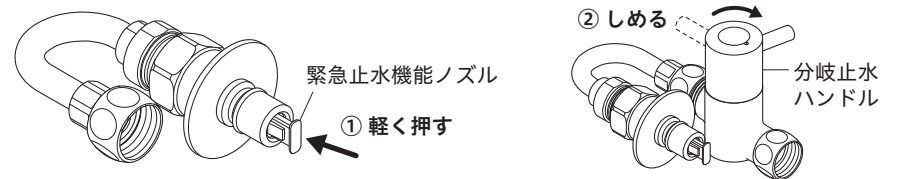
【△警告】  
分岐止水ハンドルは確実に閉めてください。開いた状態でワンタッチノズルをはずすと、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ワンタッチノズルをはずし、圧を逃します。
- ワンタッチノズルをノズルジョイントに取り付けます。
- 給水ホース(別売)をワンタッチノズルに取り付けます。

## 取り付け後の点検と清掃

### 通水確認

- 止水栓または元栓を開ける前に、ワンタッチノズルの緊急止水機能ノズルを軽く押し、離れた時に緊急止水機能ノズルが元の位置に復帰するかを確認します。
- 分岐止水ハンドルをしっかり締めて止水状態であることを確認し、止水栓または元栓を開けます。
- ワンタッチノズルに給水ホースを取り付けます。
- 分岐止水ハンドルを全開状態にして通水し、配管接続部および給水ホースをから水漏れがないことを確認してください。
- 分岐止水ハンドルの全開・全開操作を5~6回繰り返し、水漏れがないことを確認してください。



## 分岐水栓の取りはずし方法1

分岐水栓を取りはずす場合は、以下の手順で行ってください。

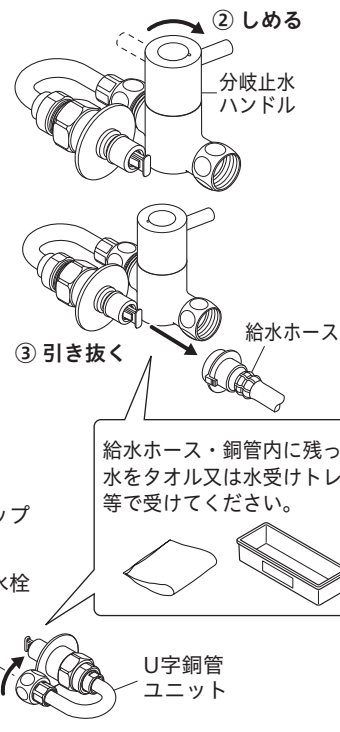
- 【△注意】
- 接続は適切な工具(スパナ等)で取りはずしてください。
  - 締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。
  - 水栓本体に傷がつかない様、タオル等で水栓本体を覆ってから取りはずしを行ってください。

## 分岐水栓の取りはずし方法2

- 湯水の止水栓の止水弁または元栓をしっかり締めて湯水が出ないことを必ず確認してください。
- 分岐止水ハンドルを締めます。
- ワンタッチノズルから給水ホースを引き抜き、給水ホース内部に残った水を排出します。

【△注意】  
給水ホースを取り外した後、給水ホース内に残った水を水受けトレイまたはタオル等で受けてください。漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- スパナ等を用いて袋ナットをゆるめ、分岐水栓からU字銅管ユニットを取りはずします。この時、銅管内に残った水をタオル等で受けてから取りはずしてください。
- スパナ等を用いて袋ナットをゆるめ、分岐ジョイントから分岐水栓を取りはずします。
- 分岐ジョイントに止水キャップを取り付けます。



※図は水側分岐の場合です。

## 故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページおよび項目
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	取扱説明書 4ページ 「流量の調節方法」 参照
	ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする	—

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】

- 【△注意】・修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。
- メンテナンスは、専用工具G26(別売)を使用して本体を保持しながら行ってください。シャワーヘッドや吐水口やレバーハンドルを持ってはずすと破損し、漏水のおそれがありますので、これらは持たないでください。

7 ページ

6 ページ

405946-00